



臨床研究部
からのお便り

夏の胃腸炎

～腸管出血性大腸菌にご注意～

第16回

一般的に小児の胃腸炎は冬季に多くみられますが、これはウイルス性、特にノロウイルスによる流行が12月にピークを形成し、その後1-2月から春にかけてロタウイルスが流行することによります。ノロウイルスはその後も暑くなるまでは続きますが、夏季には減少して、代わりにカンピロバクタ、ウェルシュ菌、サルモネラ菌など細菌性のものが増加します。また、夏には血清型O157を代表とする腸管出血性大腸菌による感染症が増加します。

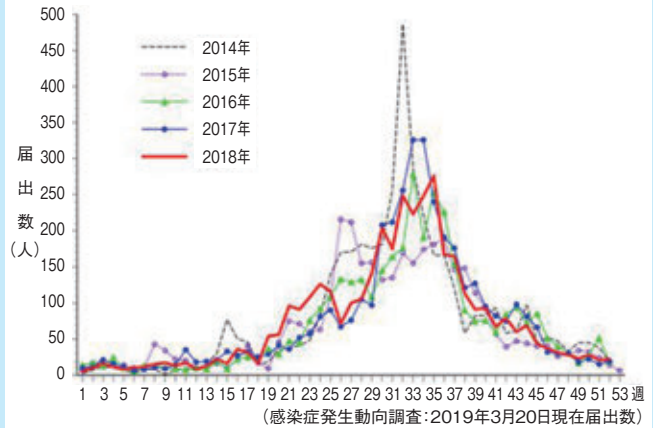
図は昨年までの毎月の腸管出血性大腸菌感染症の報告数のグラフですが、毎年8月に発生のピークがあります。今年はこれまでのところ第24週(6月16日)までに733例が報告されており、直近5年間(2014～2018年)の各年同週までの累積報告数と比較して、2018年に次いで2番目の報告数です。

腸管出血性大腸菌感染症は、無症状から著しい血便をきたす出血性大腸炎まで症状の幅は広いのですが、概しておとなでは症状が出ないことが多く(無症候性)、一方では小児と高齢者ではなんらかの症状がでる症候性になることが多いです。このため、同じものを食べても子供や高齢者だけに症状がでることがあります。患者報告数では0～4歳が最も多く、20～24歳、5～9歳、25～30歳と続きます。有症者の6～7%においては、この細菌が産生するベロ毒素が血中に入って、血管や腎臓を障害して赤血球を破壊したり、腎不全をおこす溶血性尿毒症症候群(Hemolytic Uremic Syndrome; HUS)や、脳細胞を障害する脳症などを発症することがあります。これらはやはり小児で多く、HUSを発症した患者の致死率は1～5%であることを考慮すれば、この細菌は小児科領域の胃腸炎では重要な病原体です。

症状は多くの場合、3～5日の潜伏期において、下痢が始まり、腹痛をともなう頻回の水様便の後に、血便となり(出血性大腸炎)ますが、発熱は軽度で、多くは37℃台です。特に腹痛が強いのが特徴です。よく、巷ではO157という言葉がよく聞かれますが、これは腸管出血性大腸菌のもつO抗原の血清型のことです。内訳とするとO157(68.4%)、O26(21.7%)、O111(4.6%)などがあり、必ずしもO157だけではありません。

EHECは広い範囲の家畜、野生動物や鳥類の糞から分離されますが、多くの動物では無症状で保菌され、便から排出されます。牛がヒトの感染に関連する最も重要な動物で、菌が付着した牛肉や

図. 腸管出血性大腸菌感染症届出数(感染症発生動向調査より)

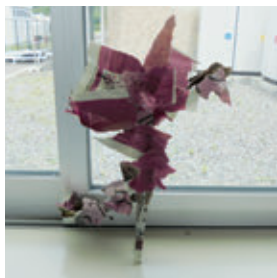


汚染された野菜などの食材が感染の原因になります。どのくらいの牛がこの細菌をもっているのでしょうか。血清型O157については多数の調査結果があり、健康な牛ではほとんどの個体において正常細菌叢として一時的に保有されます。保菌している平均期間は30日ですが、その幅は数日から一年まであり、若い個体ほど保有率が高く、暖かい季節に排出のピークがみられると報告されています。群れによって空間的、時間的に集積することも報告されており、13～28%の動物からO157が検出されたという報告もあります。

この病気を起こす腸管出血性大腸菌が、ヒトに病気を発症させる菌数はわずか50個程度と、少数の菌で感染が成立し、またこのために、人から人への感染も容易に起こりますので、特に家庭内や集団生活の場合には十分な注意が必要で、一例発生したら、他に患者がいらないかどうか確認することが重要です。この菌は上述のようにほとんどすべての牛が一時期は保有しており、保有していれば当然のことながら肉に付着する可能性があり、これが故に牛肉の生食が禁止されているわけですし、もちろん食べるときには十分に加熱して食べる必要があるわけですし、焼いているときにも生肉と焼いた肉とは別の箸で取るとか、あるいは、調理する際にはまな板や包丁を替えたりして、他の生で食べる食品に菌が移らないように注意することが大切です。(臨床研究部長 谷口 清州)

やまばとギャラリー information 情報コーナー

今月のやまばとギャラリーは、「新聞紙アート」です。新聞紙をちぎって花を作りました。みんなが知っている「サクラ」から「ネコヤナギ」というあまり聞



きなれない花まで、想像を膨らませて作りました。新聞紙をちぎると、思ったよりも大きな音がするのは知っていますか? その音に患者さんは驚いている様子でした。暑い夏に花のイメージはないかもしれませんが、やまばとギャラリーで花を愛でて穏やかな気持ちになりませんか?
(児童指導員 白松 美優)

5病棟の生活のひとコマ 49

7月の誕生会は、「マヒナ」の皆さんにウクレレを披露していただきました。「マヒナ」とは、ハワイ語で「月」を意味するそうです。その意味のとおり、心穏やかな曲の中、演奏会は行われました。患者さんに大人気の「サザエさん」では、演奏に合わせて歌う患者さんもおられましたよ。8月の誕生会は、歌紙芝居を披露していただく予定です。紙芝居なのに舞台を大きく使う? そうです。(児童指導員 白松 美優)

